



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 朝日インテック株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7747 URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮田昌彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)伊藤瑞穂 (TEL) (0561) 48-5551
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	14,407	△7.1	3,534	△29.0	3,483	△29.8	2,591	△27.2
2020年6月期第1四半期	15,512	13.0	4,979	4.8	4,959	2.1	3,557	△9.3

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 1,953百万円(△48.0%) 2020年6月期第1四半期 3,756百万円(△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	9.95	9.90
2020年6月期第1四半期	13.67	13.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	92,772	71,653	77.2
2020年6月期	93,729	71,975	76.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 71,625百万円 2020年6月期 71,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	8.81	8.81
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	8.82	8.82

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,734	△7.2	5,943	△31.8	5,850	△33.9	4,124	△33.0	15.83
通期	60,542	7.1	12,619	1.4	12,496	1.5	9,193	0.2	35.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)ASAHI INTECC Deutschland GmbH、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年6月期1Q	260,615,200株	2020年6月期	260,561,600株
2021年6月期1Q	7,878株	2020年6月期	7,878株
2021年6月期1Q	260,581,513株	2020年6月期1Q	260,285,908株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) 地域ごとの情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、5か年の中期経営計画「『ASAHI Road to 1000』～Only One技術で強固なグローバルニッチ No. 1を目指す～」に基づき、連結売上高1,000億円達成に向けた事業ポートフォリオの構築として、「グローバル市場の戦略的な開拓と患部・治療領域の拡大」を推進することで、これまでの基本戦略の集大成を図り、既存事業の収益基盤を強化、また将来に向けた成長への投資を継続することにより「グローバルニッチ市場における新規事業の創出」を実現し、グローバルニッチ市場における当社のプレゼンスの強化と企業価値の一層の向上を目指し、その成長戦略を支えるためのビジネス基盤として、「グローバル展開に最適な研究開発・生産体制の構築」を進めるとともに「持続的成長に向けた経営基盤の確立」を図ってまいりたいと考えております。本計画では、連結売上高1,000億円に至るマイルストーンとして、2023年6月期に連結売上高800億円を達成することを目標とし、当該時点での営業利益率は25%を目途としております。

その実現に向けた施策として、当第1四半期連結累計期間では、販売・マーケティング活動強化のために韓国での直接販売化を開始するとともに、2021年1月からのドイツでの直接販売開始に向けて、ドイツ法人を設立いたしました。また、さらなる成長を実現するための基盤技術研究の拡充を目的に、大阪R&Dセンター新棟の建設を決定いたしました。さらには、社会と当社のサステナビリティ重要課題に対して、成長戦略・経営基盤強化の両面からの取り組みを整理したサステナビリティレポートを公開いたしました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

なお、2020年に入り発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、グローバル規模で血管内カテーテル治療の症例数が減少し、市場規模が一時的に縮小しております。現在、減少のピークは越えており、グローバル規模で症例数も回復傾向にありますが、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

上記環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、脳血管系製品の販売が好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による市場規模の縮小や、医療償還価格の下落などの外部環境を受け、144億7百万円(前年同期比7.1%減)となりました。

売上総利益は、売上高の減少に伴い、100億15百万円(同7.6%減)となりました。

営業利益は、開発強化のための研究開発費、組織体制強化のための人件費、システム関連費用の増加など、販売費および一般管理費が増加したことにより、35億34百万円(同29.0%減)となりました。

経常利益は、為替差損の増加などにより、34億83百万円(同29.8%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、25億91百万円(同27.2%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

1米ドル=106.23円(前年同期107.44円、比1.1%減)

1ユーロ=124.08円(前年同期119.46円、比3.9%増)

1中国元=15.35円(前年同期15.31円、比0.3%増)

1タイバーツ=3.39円(前年同期3.50円、比3.1%減)

セグメントごとの経營業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業は、国内・海外市場ともに、新型コロナウイルス感染症の影響によるグローバル規模での症例数減少により、売上高は減少いたしました。

国内市場においては、非循環器系領域の脳血管系ガイディングカテーテルが順調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症による症例数の減少や医療償還価格下落の影響を受け、売上高は減少いたしました。

海外市場においては、米国にて循環器系領域の貫通カテーテルや脳血管系領域のガイドワイヤーが増加、また中国では循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテルが増加したものの、全体としてはグローバル規模での新型コロナウイルス感染症による症例数減少の影響を受け、売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は126億73百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費を中心に販売費及び一般管理費が増加したことにより、37億19百万円(同21.4%減)となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医療部材・産業部材ともに減少いたしました。

医療部材については、国内市場においては内視鏡用部材の減少、海外市場においては米国向け腹部血管系カテーテル部材および循環器系検査用カテーテル部材の取引が減少したことなどから、売上高は減少いたしました。

産業部材につきましては、国内市場は横ばいに推移したものの、海外市場のOA機器関連・自動車関連・レジャー関連取引が減少したことなどから、売上高は減少いたしました。

以上の結果、売上高は17億34百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

また、セグメント利益は、外部売上高が減少したことにより、7億9百万円（同28.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が927億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億57百万円減少しております。主な要因は、受取手形及び売掛金が10億67百万円、その他（無形固定資産）が5億70百万円、投資その他の資産が9億98百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が34億74百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が211億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億35百万円減少しております。主な要因は、賞与引当金が5億16百万円、その他（固定負債）が1億60百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が9億6百万円、その他（流動負債）が3億32百万円がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が716億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少しております。主な要因は、利益剰余金が2億96百万円、その他有価証券評価差額金が2億85百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が9億38百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、売上高の増加や、売上総利益率の上昇、販売費及び一般管理費の一部遅延を含む未発生により、当初予想に比べて好調に推移いたしました。第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が不透明な状況であることや、販売費及び一般管理費の発生が遅延傾向にあるものの年間の計画を通じて発生する予定であることなどから、修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,554	15,079
受取手形及び売掛金	7,403	8,471
電子記録債権	1,325	1,319
商品及び製品	4,294	3,926
仕掛品	7,309	7,525
原材料及び貯蔵品	5,894	6,584
その他	3,041	2,621
貸倒引当金	△28	△33
流動資産合計	47,793	45,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,047	14,416
その他（純額）	21,338	20,778
有形固定資産合計	35,386	35,195
無形固定資産		
のれん	2,699	2,662
その他	2,566	3,137
無形固定資産合計	5,266	5,799
投資その他の資産	5,283	6,282
固定資産合計	45,935	47,276
資産合計	93,729	92,772

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,711	1,668
電子記録債務	465	464
短期借入金	2,987	3,124
未払法人税等	2,044	1,137
賞与引当金	498	1,015
その他	5,078	4,746
流動負債合計	12,786	12,156
固定負債		
長期借入金	4,925	4,730
役員退職慰労引当金	23	20
退職給付に係る負債	1,662	1,693
その他	2,356	2,517
固定負債合計	8,968	8,962
負債合計	21,754	21,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,403	6,417
資本剰余金	9,295	9,302
利益剰余金	53,466	53,762
自己株式	△7	△7
株主資本合計	69,158	69,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,154	1,439
為替換算調整勘定	1,809	871
退職給付に係る調整累計額	△175	△160
その他の包括利益累計額合計	2,788	2,150
新株予約権	4	4
非支配株主持分	23	24
純資産合計	71,975	71,653
負債純資産合計	93,729	92,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	15,512	14,407
売上原価	4,668	4,391
売上総利益	10,844	10,015
販売費及び一般管理費	5,864	6,481
営業利益	4,979	3,534
営業外収益		
受取利息	6	1
受取配当金	3	7
固定資産売却益	11	9
その他	9	25
営業外収益合計	30	44
営業外費用		
支払利息	14	17
為替差損	30	58
その他	6	20
営業外費用合計	50	95
経常利益	4,959	3,483
税金等調整前四半期純利益	4,959	3,483
法人税、住民税及び事業税	1,431	883
法人税等調整額	△30	7
法人税等合計	1,401	891
四半期純利益	3,558	2,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,557	2,591

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,558	2,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	285
為替換算調整勘定	140	△938
退職給付に係る調整額	5	14
その他の包括利益合計	197	△638
四半期包括利益	3,756	1,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,755	1,953
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響に関しましては、前連結会計年度の2020年6月期決算短信の追加情報に記載した内容から、重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,171	2,341	15,512	—	15,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	1,081	1,108	△1,108	—
計	13,198	3,422	16,620	△1,108	15,512
セグメント利益	4,735	988	5,723	△744	4,979

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,673	1,734	14,407	—	14,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高	110	1,488	1,599	△1,599	—
計	12,784	3,222	16,007	△1,599	14,407
セグメント利益	3,719	709	4,429	△894	3,534

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	米国	欧州・中近東	中国	アジア	その他	合計
4,356	3,178	2,495	2,623	1,341	410	14,407